

審査基準及び審査方法

1 委託事業者選定方法

令和 8 年度大阪市における生成 AI 活用に関するロードマップ作成等支援業務委託公募型プロポーザル募集要項に記載の参加資格要件を満たす提案者を対象に、企画提案書及びプレゼンテーション内容を審査して、提案内容の各評価項目の評価点の合計が合格最低点を満たし、かつ最も高い提案者を委託事業者として選定する。

2 審査基準及び審査方法

提案者から提出のあった企画提案書及び別途実施するプレゼンテーションについて、次表の提案内容評価表に基づき、審査を行う。

審査の結果、次項に述べる評価点の合計が合格最低点を満たし、かつ最も高い提案者を委託事業者候補とし、選定委員から意見を受けたうえで、委託事業者を決定する。

なお、複数の提案者の評価点の合計が同点となった場合は、提案内容評価表の次の項目の評価点を順次比較し、当該項目の評価点が最も高い者を委託事業者とし、これも同点である場合はくじ引きにより委託事業者を決定する。

- ① 「業務の実施方針」の合計点
- ② 「業務の実施体制」の合計点
- ③ 「業務の実施内容及び取組スケジュール」の合計点

(提案内容評価表)

| 評価項目 | 審査内容 | 項目点 | 加重 | 評価点 |
|--|---|-----|----|-----|
| 業務の実施方針 | 本業務の背景・課題及び目的等を十分に理解し、業務の実施方針が明確かつ具体的に提案されているか。 | 5 | 3 | 15 |
| 業務委託仕様書 「4 本委託における業務内容」 「(1) データ活用の視点も踏まえた生成 AI 活用のロードマップ（3 年）等の作成」業務の実施内容及び取組スケジュール | 業務の実施内容が明確かつ具体的に提案されているか。 取組スケジュールが本市及び事業者にとって、無理なく遂行できるスケジュールとなっているか。 業務の実施内容及び取組スケジュールに実現性があるか。 | 5 | 3 | 15 |
| 業務委託仕様書 「4 本委託における業務内容」 「(1) データ活用の視点も踏まえた生成 AI 活用のロードマップ（3 年）等の作成」における業務の実施体制 | 提案する業務の実施内容に対し、スタッフの人数が適正に確保されるなど、業務実施体制について具体的かつ明確に記述されているか。また、業務の繁忙度に応じて柔軟に対応できる体制が考えられているか。 | 5 | 1 | 5 |
| | 業務を適切かつ柔軟に実施するために必要な知識・経験等を有するスタッフの配置体制が確保されているか。 | 5 | 2 | 10 |
| | 過去に同種又は類似する事例に取り組んだ実績があるか。とりわけ、業務責任者は実績として上げた業務において中心的に参画していたか。 | 5 | 2 | 10 |
| 業務委託仕様書 「4 本委託における業務内容」 「(2) AI エージェントの実証等 | 業務の実施内容が明確かつ具体的に提案されているか。 業務の段階毎に大阪市との役割分担、連携及び協業の進め方が具体的に示されており、取組スケジュールが本市及び事業者にとって、 | 5 | 3 | 15 |

| 評価項目 | 審査内容 | 項目点 | 加重 | 評価点 |
|--|--|-----|----|-----|
| 支援業務」における業務の実施内容及び取組スケジュール | 無理なく遂行できるスケジュールとなっているか。 業務の実施内容及び取組スケジュールに実現性があるか。 | | | |
| 業務委託仕様書 「4 本委託における業務内容」 「(2) AI エージェントの実証等支援業務」における業務の実施体制 | 提案する業務の実施内容に対し、スタッフの人数が適正に確保されるなど、業務実施体制について具体的かつ明確に記述されているか。また、業務の繁忙度に応じて柔軟に対応できる体制が考えられているか。 | 5 | 1 | 5 |
| | 業務を適切かつ柔軟に実施するために必要な知識・経験等を有するスタッフの配置体制が確保されているか。 | 5 | 2 | 10 |
| | 過去に同種又は類似する事例に取り組んだ実績があるか。とりわけ、業務責任者は実績として上げた業務において中心的に参画していたか。 | 5 | 1 | 5 |
| その他、仕様書に記載していない取組の提案 | 本市の背景、課題及び目的等を踏まえ、本仕様に記載する以外の生成 AI 活用に資する取組方針・内容等が提案されているか。 | 5 | 2 | 10 |
| 合計 | | | | 100 |

3 評価基準

(1) 評価点の考え方

各評価項目の評価点は、次に述べる「各評価項目の点数」に「項目加重」を乗じ、それらを合計することにより算出する。評価点の合計の満点は 100 点とする。

(2) 各評価項目の項目点

企画提案書及びプレゼンテーションの内容について、選定委員が各評価項目の項目点を採点する。選定委員が事業実施に必要十分と判断する提案内容であれば基準点数の「3 点」とし、これと比べて非常に高いレベルの提案は「5 点」、高いレベルの提案は「4 点」、低いレベルの提案は「2 点」、非常に低いレベルの提案は「1 点」として、5 段階で評価する。

ただし、「その他、仕様書に記載していない取組の提案」の項目において提案がない場合は、「1 点」とする。

(3) 項目加重の設定

各評価項目の重要度に応じて、また、すべての評価項目の項目点が「5 点」である場合に評価点の合計が 100 点となるように、評価項目ごとに 1 ～ 3 の項目加重を設定する。

(4) 合格最低点

合計点が 50 点以上

(ただし、「その他、仕様書に記載していない取組の提案」は除き、各評価項目の項目点に「1 点」がある場合は、合計点に関わらず不合格とする。)

(5) その他

企画提案書に評価項目のいずれかについて(ただし、「その他、仕様書に記載していない取組の提案」は除く)の記述がない場合や、企画提案書の内容が、募集要項、別紙 1「業務委託仕様書」及び別紙 6「企画提案書作成要領」に示す基準・内容を大きく逸脱している場合は、失格とし、採点しない。

また、企画提案書の総ページ数が、別紙 6「企画提案書作成要領」に記載のページ数の上限を超えて提出した提案者は、評価点の合計から 10 点減点する。